

没後30年 亀山巖と名古屋豆本

明治40年、名古屋市中区に生まれた亀山巖は、愛知県工業学校図案科に入学し、在学中から児童誌の挿絵を描き、詩誌に参加して表紙画を手がけるなど多彩な才能を持ち合わせていました。卒業後に上京しますが20歳の時に名古屋に戻り、翌年から名古屋新聞社（現・中日新聞社）に勤めます。新聞紙や同人雑誌に数々のエッセイ、小説、詩などを発表し続けながら、昭和37年には名古屋タイムズ社社長に就任しました。経営者として活動する一方で、60歳から名古屋豆本を開板して144冊もの豆本を残し、晩年は名古屋市の文化振興にも尽力しました。

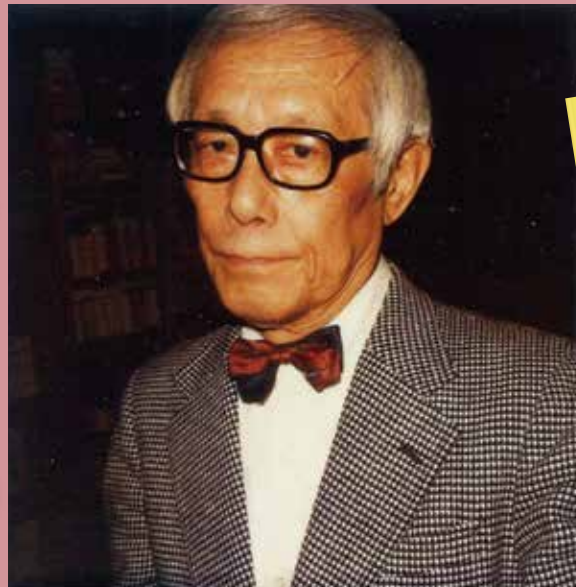
没後30年の節目となる今回の展示では、作家・亀山巖の集大成ともいえる「名古屋豆本」全冊を展示すると共に、貴重なゆかりの資料なども紹介します。



亀山巖私版
『空一面のうろこ雲』1987年



名古屋豆本用封筒



名古屋豆本用封筒



雑誌『街のパンフレット』
鮎選倶楽部発行 1933年

トークイベント

第一部では名古屋豆本について、第二部ではモデルノロチオ（考現学）について、それぞれの活動や思い出などをお話いただきます。

■日時：平成31年2月24日（日）
午後1時30分～午後3時

■会場：文化のみち二葉館 1階大広間

※入場無料（要入館料）

当日先着順自由席

第一部／木下信三

「亀山巖先生の恩を思ふ」

第二部／岡本信也

「モデルノロチオと現代風俗」

出演者プロフィール

■木下信三（きのしたしんぞう）
1934年、名古屋
市生れ。1966年、
個人誌発行、現在に
至る。1968年、
名古屋地方の無名



物故詩人の発掘作業開始。1970年より山頭火の実証的研究を志し全国足跡を追跡調査。著書、『名古屋近代文学史私考』『愛知戦後文学史考』『山頭火伝』『山頭火虚像伝』など。

■岡本信也（おかもとしんや）
1940年、名古屋
市生れ。名古屋工業
大学卒業後、雑誌編
集者を経て、新聞・
雑誌等で「町の考現
学」を執筆。「超日常観察記」で日本雑学
大賞・橋本峰雄賞。「私のえらんだ文化財
研究」で最優秀賞、「町のけんきゆう」「生
活学の方法」「日用品の二〇世紀」（共著）
等、生活風俗に関する観察記を刊行。現
在はもの書き、名古屋在住。



主催・お問い合わせ

文化のみち二葉館

【名古屋市旧川上貞奴邸】

〒461-0014 名古屋市東区榑木町3丁目23番地

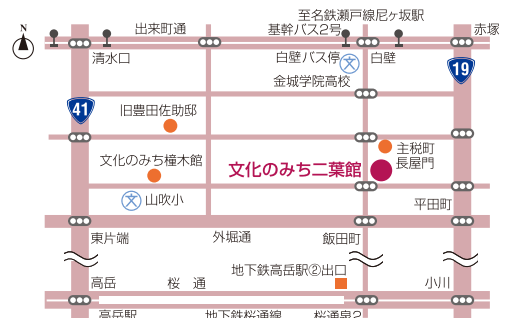
Tel & Fax 052-936-3836

http://www.futabakan.jp/

このチラシは古紙/バブルを含んだ再生紙を使用しています。

交通のご案内

- なごや観光ルートバスメーグル「文化のみち二葉館」下車
 - 市バス「飯田町」下車、北に徒歩2分
 - 基幹バス2号「白壁」下車、南に徒歩5分
 - 地下鉄桜通線「高岳」下車、2番出口より北に徒歩10分
 - 名鉄瀬戸線「尼ヶ坂」下車、南に徒歩12分
- ※駐車台数に限りがありますので、できるだけ公共交通機関をご利用ください。



市バス・地下鉄でのおでかけが便利でお得です。

ドニチエコきっぷ・一日乗車券を利用してご来場の方は、
文化のみち二葉館入館料割引！ 一般 200円 ▶ 160円

※詳細は地下鉄駅で配布している特典ガイドブック「なごや得ナビ」をご覧ください。

※「ドニチエコきっぷ」「一日乗車券」は、ゆとりーとライン（高架区間）、名鉄バス、あおなみ線、リニモでは利用できません。



当日利用したドニチエコきっぷ等の一日乗車券を提示するだけで、名古屋市内の施設・飲食店などで割引等の特典が受けられます！

